

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション I	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	マーク・ゾーター
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期・ 時限目
教員の略歴	カナダ ビクトリア州 ビクトリア大学大卒 英会話講師の主宰						
授業の学習内 容	外国人を前に怖がり恥づかしがたりせず、流暢でなくても意思疎通を図ろうとする「姿勢」を身につける。						
到達目標	英語で挨拶したり、自分の言いたいことを伝え、相手の言っていることを理解するなど、日常の場面で簡単な英語コミュニケーションが出来るようになる。						
評価方法と基準	定期テスト(筆記100%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	クラスオリエンテーション L1 挨拶が出来るようになる	オンラインプラクティス L 1
2		講義	L3 個人の情報を聞きだすことが出来るようになる もう一度言ってもらえるようお願い出来る	オンラインプラクティス L3
3		講義	L6 好き嫌いを表現出来るようになる 相手に質問で返すことができるようになる	オンラインプラクティス L6
4		講義	L8 相手に意見を聞くことが出来るようになる 相手に意見を伝えることができるようになる 誘いに返答することが出来るようになる	オンラインプラクティス L8
5		講義	L9 L10 相手の家族について質問出来るようになる 自身の家族について説明出来るようになる 相手の性格と比較して説明出来るようになる	オンラインプラクティス L9 L10
6		講義	L11 相手について褒めることが出来るようになる 褒め言葉に返答出来るようになる	オンラインプラクティス L11
7		講義	L7 L13 時間を尋ねることが出来るようになる 時間を伝えることが出来るようになる 相手の日課について質問出来るようになる 自分の日課について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L7 L13
8		講義	L14 継続して質問することが出来るようになる	オンラインプラクティス L14
9		講義	L19 L20 ある場所の位置について質問出来るようになる ある場所の位置を説明出来るようになる 道案内が出来る、道順を尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L19 L20
10		講義	L21 L23 ある行動の頻度について尋ねることが出来るようになる ある行動の頻度を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L21 L23
11		講義	L28 ある食べ物について質問出来るようになる ある食べ物を説明出来るようになる	オンラインプラクティス L28
12		講義	L29 L30 過去の出来事について話すことが出来るようになる 過去の出来事について尋ねることが出来るようになる	オンラインプラクティス L29 L30
13		講義	L32 予定について質問出来るようになる 予定について説明出来るようになる	オンラインプラクティス L32
14		定期試験	定期試験 アセスメントテスト	
15		振返り	振返り	
準備学習 時間外学習			自宅で教科書に付随するオンラインプラクティスの内容を活用し、予習・復習を行うこと。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
Speak Now 1				

科目名 (英)	キャリアデザイン I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	坂本勘訓
	()	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部						
教員の略歴	専門学校卒業後、実験動物飼育管理、移動動物園勤務を経て、動物系専門学校勤務						
授業の学習内容	学校での校内講義、および校外講義を実施し、職業人教育を通し、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。 また個人での取り組みや、グループでの取り組みを行い、主体性を身につける。						
到達目標	個人及びグループ内でお客様や展示を考慮し、ニーズに合わせた企画、発表ができる。 企業の取り組みについて、理解する。						
評価方法と基準	レポート50%、取り組み状況・課題提出20%、出席30%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	○サポートアンケート・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・挨拶、時間管理、整理整頓・サポートアンケート	授業内容の予習・復習
2	/	講義・演習	○ITリテラシーテスト・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・教務自己紹介・ITリテラシーテスト	授業内容の予習・復習
3	/	講義・演習	○映像鑑賞・傾聴・挨拶、時間管理、整理整頓・SOSを出すことについて・植松努氏動画(TED)	授業内容の予習・復習
4	/	講義・演習	○ネットリテラシー・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・ネットリテラシーといじめ	授業内容の予習・復習
5	/	講義・演習	○自己紹介・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・自己紹介	授業内容の予習・復習
6	/	講義・演習	○グループで協力するということ・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・動画鑑賞	授業内容の予習・復習
7	/	講義・演習	学祭準備	授業内容の予習・復習
8	/	講義・演習	○グループワークについて・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワークのやり方について	授業内容の予習・復習
9	/	講義・演習	○グループワーク実践・グループワーク実践	授業内容の予習・復習
10	/	講義・演習	○独自アンケート・独自アンケート	授業内容の予習・復習
11	/	講義・演習	○夏休み前HR・出席率の確認・単位についての説明・生活リズムを崩さないように・この夏にしかできないことをしてみる	授業内容の予習・復習
12	/	講義・演習	○グループワーク・傾聴・安心安全なクラスづくりのために・グループワーク	授業内容の予習・復習
13	/	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
14	/	講義・演習	○映像鑑賞・動画を見て話し合う	授業内容の予習・復習
15	/	講義・演習	○人との関わりについて	授業内容の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	ホスピタリティ (Hospitality)		必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1	担当教員	松田青華
	学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	フリーアナウンサーとして28年、テレビ・ラジオ・イベント等で活動。コミュニケーションが必須であるトークショーやインタビューが得意分野。現在は現役でありながら、後世の教育に従事。大学、専門学校、企業等に向けて、ホスピタリティ・コミュニケーションの大切さを伝える講師として12年目。							
授業の学習内容	動物、海洋、自然分野の多くはサービス産業に属す。接客や接遇に関してはもちろん、普段の生活において「人と人」「人とモノ」「人と社会」「人と自然」など、ホスピタリティが存在することでお互いを尊重し、関係が良好になる。この相互満足が良きコミュニケーションとなり、お互いの人生がより過ごしやすくなる。また「コミュニケーションスキル検定」教材のもとコミュニケーションについて取り上げるが、「ホスピタリティ」は「コミュニケーション」のひとつだと考えてほしい。普段の学生生活での人間関係はもちろん、どの分野も企業が欲しい人材として「コミュニケーション能力の高さ」を求めている。コミュニケーション能力を身に付けることで何よりも自分が生きやすくなり、自身の身を守る大きなツールとなる。そこにホスピタリティ精神を身に付けると自身のファンの獲得にもなる。ECO専門分野を学ぶ学生たちであるからこそ、人間関係を良好に育み、ストレスのない社会生活に向けて是非、参加意識を持って受講してほしい。授業は「楽しく学ぶ」がモットー。授業コンセプト「もう一度逢いたい人になる」動画での授業が基本ですが、各自ワークも出来るように工夫し、参加型オンデマンドをお届け。							
到達目標	①ホスピタリティ・コミュニケーションがなぜ必要性を理解し、意識する習慣が身に付く ②ホスピタリティの実践が出来る ③自己肯定感・利他の心を得る ④伝達力のアップ ⑤ビジネスマナーの基本を習得							
評価方法と基準	筆記試験、レポート、授業内評価 総合評価で100%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1-2		講義、演習	本授業の概要。自己紹介。 ホスピタリティ・コミュニケーションの必要性について。ホスピタリティについてのディスカッション。ホスピタリティの歴史と文化、語源など	
3-4		講義、演習	日本のサービス産業の現状。サービスと経済、ホスピタリティを体感する。ディスカッションカードゲーム	
5-6		講義、演習	ホスピタリティの領域・コンプライアンス、自己を知る①内省ワーク	
7-8		講義、演習	他人を知る②多様性ワーク、ホスピタリティの実践①	
9-10		講義、演習	ホスピタリティの実践②、専門分野のホスピタリティについて	
11-12		講義、演習	コミュニケーションの重要性と基本、コミュニケーションのプロセスを理解と手法	
13-14		講義、演習	傾聴の大切さ、前期試験 まとめ	
15-16		講義、演習	前期レポート課題 総括、前期振り返り。伝える話し方。印象に残る自己紹介	
17-18		講義、演習	質問の仕方、グループについて、関係を深める言葉と上手な頼み方、断り方、自己主張	
19-20		講義、演習	視覚の重要性を服装・メイクなどを用いてワーク(プロモデルから学ぶ)、自己主張と感情のコントロール(アンガーマネジメント)	
21-22		講義、演習	サービスマインド(ホスピタリティマインド)実例から学ぶ、プレゼンテーション演習①発表内容作成	
23-24		講義、演習	プレゼンテーション演習②ミニプレゼンテーション、ビジネスマナー基礎	
25-26		講義、演習	ビジネスマナー演習(ドアの開け方・お茶出しなど)、検定試験対策	
27-28		講義、演習	ホスピタリティ実践ワーク①、ホスピタリティ実践ワーク②	
29-30		講義、演習	後期試験 まとめ、通年学習総括	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
ホスピタリティー・コーディネーター教本(副本)コミュニケーションスキルアップ検定				

科目名 (英)	インフォメーションテクノロジー (Information Technology)	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	1年	担当教員	小野寺幸子
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	通年
教員の略歴	株式会社日立製作所で営業・インストラクターを経て、東北六県で企業、役所、自衛隊、専門学校、短大ほかでパソコンの研修を担当						
授業の学習内容	社会に通用する仕事のツールとしてコンピュータは必須です。 Word、Excelの基本操作はもちろん、PowerPointでの発表の場も業種問わず増えています。スマホやタブレットの慣れからキーボードが使えない人がいる現状の中、パソコンの基礎が一番大事です。 簡単な案内文書からチラシやポスター作りへの応用、また企業プロジェクトで必要なExcelの表を自在に操作、編集できるようにする。Power Pointでは、スライドを思い通りに作成し、様々な場面で自分を表現できるように力をつけていく。 授業を通じて3つのアプリケーションの最低限の基礎をしっかりと使えるようになってほしい。						
到達目標	10分間タイピング 400字以上入力できる 社会で通用するように基本的な文書作成が30分程度で作成できる Power Pointを使用して明確に自分の伝えたいことをスライドに表現ができ、発表できる						
評価方法と基準	1) 定期試験: Word40%(社外文書が50分以内で作成できるか評価) PowerPoint40%(与えられたテーマを盛り込みスライド7枚で表現できるか評価) 2) 態度・提出物: 20%(授業内での課題の取り組みで評価)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	パソコンの使い方、Wordの基本操作、入力、文書の基本構成を理解	タイピング練習問題課題①
2	/	講義・演習	文書の効率の良い編集(オートフォーマット、書式設定)	
3	/	講義・演習	便利な機能の使い方、基本文書の作成練習	Word演習問題課題①
4	/	講義・演習	オブジェクト(ワードアート、クリップアート)を活用した文書作成①	
5	/	講義・演習	オブジェクト(SmartArt、図、図形)を活用した文書作成②	Word演習問題課題②
6	/	講義・演習	Excelの基本操作、数式、関数	タイピング練習問題課題②
7	/	講義・演習	体裁を整える(書式)、グラフ作成	10分間タイピングテスト
8	/	講義・演習	練習問題、まとめ	
9	/	講義・演習	PowerPointの基本操作、作成、編集	
10	/	講義・演習	スライドショー、オブジェクトの挿入	
11	/	講義・演習	アニメーション、画面切り替えで表現する	
12	/	講義・演習	まとめとスライド作成の練習	PowerPoint演習問題課題①
13	/	講義・演習	テーマ課題作成実習	テーマ課題準備とWord演習問題③
14	/	講義	後期本試験 Wordでの文書作成テスト	
15	/	講義	PowerPointでの課題作成(発表)提出	10分間タイピングテスト
準備学習 時間外学習			演習問題等で操作をマスターする。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
実教出版株式会社 "ポイントでマスター 基礎からはじめる情報リテラシーOffice2019"				

科目名 (英)	アニマルベーシック (Basic Animal Study)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	通年
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、ブルークロス動物病院院長						
授業の学習 内容	<アニマルベーシック>動物に関する勉強をする場合の生物学的基礎知識を理解することを目的としている。						
到達目標	<アニマルベーシック>この科目を受講した学生が、基礎生物学の知識を身につけることにより、動物業界で活躍する人材になることを目標としている。						
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	光合成・食物連鎖、血液の役割・成分・生成、消毒・滅菌を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	ゾーノシス、濃度計算と希釈法、バイタルサイン、生体防御システムを説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	エイズと免疫、アレルギーと免疫、ワクチンと免疫、外分泌と内分泌、代謝を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	五大栄養素、遺伝、繁殖、イヌとネコの交配を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	DNA・遺伝子・ゲノム、体細胞クローン動物、外来種、絶滅危惧種を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	温暖化、酸性雨、オゾンホール、エコロジー関連の国際条約を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	試験	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義、演習	水族館見学実習	水族館にて動物の基礎を学ぶ
9	/	講義、演習		
10	/	講義、演習		
11	/	講義、演習		
12	/	講義、演習		
13	/	講義、演習		
14	/	講義、演習		
15	/	講義	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
16	/			
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
「ECO業界で役立つ基礎生物 株式会社滋慶出版」「動物年表で知るアニマルヒストリー 株式会社滋慶出版」				

科目名 (英)	アニマルヒストリー (History of Animals and Human)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	高山清次
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	通年
教員の略歴	1985年麻布大学大学院獣医学部博士課程修了、ブルークロス動物病院院長						
授業の学習内容	<アニマルヒストリー>動物に関する歴史を学び、現代社会において、いかに動物との関係が必要であるかについて理解することを目的とする。						
到達目標	<アニマルヒストリー>この科目を受講した学生が、広い視野と柔軟な考え方をもち、「人と動物のより良い関係」を築くことができる業界人になることを目標としている。						
評価方法と基準	定期試験:80% 授業態度と参加度:20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物の進化とゲノムDNAの進化を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
2	/	講義	イエイヌの歴史、人間と家畜の歴史、動物の仕事に携わる基としての倫理を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
3	/	講義	ペットビジネスの種類を説明できる。環境を守る観察と観光について知識を深める。	講義範囲を予習・復習する。
4	/	講義	動物介在療法(AAT)と動物介在活動(AAA)、動物が人に与える効果について、セラピーに向く動物の育成、ペットロスを説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
5	/	講義	牧羊犬、警察犬、救助犬身体障害者補助犬法、盲導犬、介助犬、聴導犬を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
6	/	講義	BSE問題、鳥インフルエンザ、日本の食料自給率、動物愛護問題を説明できる。	講義範囲を予習・復習する。
7	/	講義	評価試験	試験範囲を勉強し、試験後、見直す。
8	/	講義、演習	水族館実習	現場にて水族館の歴史を知る
9	/	講義、演習		
10	/	講義、演習		
11	/	講義、演習		
12	/	講義、演習		
13	/	講義、演習		
14	/	講義、演習		
15	/	講義、演習	評価試験返却・解説・まとめ	試験範囲を振り返り、理解を深める。
16	/			
準備学習 時間外学習			学校の図書やインターネットを利用して講義の範囲内を予習・復習する。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
「ECO業界で役立つ基礎生物 株式会社滋慶出版」「動物年表で知るアニマルヒストリー 株式会社滋慶出版」				

科目名 (英)	動物の体のしくみ (Anatomy and Physiology of Animals)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	石田
	学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義、演 習	総時間 (単位)	30 2	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	農学博士、近畿大学農学部水産学科非常勤講師。環境省(財)環境科学総合研究所にて高濃度のCO2および農薬が生物に及ぼす影響について研究。海外での環境保全・野生動物保護活動を行う						
授業の学習内容	動物園など動物飼育の仕事において、専門知識や技術をもつ人材を養成するだけでなく、根底にある動物達の解剖学的・生理学的要因を学ぶ。動物の体のしくみについての基礎的知識を習得し、これから実施していく動物園などでの業界研修のときに必要とする知識を習得することを目的とする。						
到達目標	受講者は、この授業を履修することによって、動物を仕事で扱う際に何か問題が起きたとき、その動物がなぜそのようになっているのか？ その問題の根底にある原因を考えられるようになることを目標とする。						
評価方法と基準	試験40%、出席60%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	講義	【骨格系1】骨格の構造と機能を理解する。	動画視聴	
2	/	講義	【骨格系2】Caイオンと骨の関係を理解する。	動画視聴	
3	/	講義	【骨格系3】動物たちの行動と骨格のしくみの関係を理解する。	動画視聴	
4	/	講義	【循環器系1】心臓構造と血液循環について理解する。	動画視聴	
5	/	講義	【循環器系2】循環系の検査方法(心拍数・血圧・心電図)について理解する。	動画視聴	
6	/	講義	【中枢神経系】脳の役割と検査方法(脳波)について理解する。	動画視聴	
7	/	講義	【視覚1】眼の構造と機能について理解する。	動画視聴	
8	/	講義	【視覚2】色覚のしくみについて理解する。	動画視聴	
9	/	講義	【視覚3】動物たちの行動と色覚との関係を理解する。	動画視聴	
10	/	講義	【視覚4】眼以外の視覚(松果体・赤外線感知)	動画視聴	
11	/	講義	【聴覚1】動物の聴覚のしくみを理解する。	動画視聴	
12	/	講義	【聴覚2】動物のエコ-ロケーションのしくみを理解する。	動画視聴	
13	/	講義	【嗅覚】動物の聴覚のしくみを理解する。	動画視聴	
14	/	講義	【味覚】動物の味覚のしくみを理解する。	動画視聴	
15	/	講義	【総括授業】総括授業を行う。		レポート課題
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					

科目名 (英)	ドッグ トレーニング I	必修 選択	必修 選択 必修 選択 必修 選択 必修 選択	年次	1	担当教員	南條 絵美
	(Dog Training I)	授業 形態	講義・演習 実 習等	総時間 (単位)	90 (6)	開講区分	前期 土曜日
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部						
教員の略歴	JKC公認訓練士、1999年～2003年警察犬大場訓練所勤務、動物系専門学校にてドッグトレーニングの非常勤講師を務める						
授業の学習内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※ 実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験(筆記試験) 60% 講義・演習中の態度及び、トレーニング成果 40% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	担当犬の理解 (実際に犬と接することにより、性格を読み取り犬具の装・脱着が出来る)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
2		講義・演習	招呼(呼び戻し)を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
3		講義・演習	誘惑がある状況での招呼を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
4		講義・演習	脚側意識の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
5		講義・演習	脚側行進の基礎を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
6		講義・演習	ハウスを教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
7		講義・演習	伏臥を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
8		講義・演習	脚側意識の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
9		講義・演習	脚側行進の応用を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
10		講義・演習	声符・視符を正しく使うことが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
11		講義・演習	JKC 家庭犬訓練試験の規定を理解する	学校飼育犬及び、担当犬の管理
12		講義・演習	JKC CD-1の規定を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
13		講義・演習	JKC CD-1の規定を教えることが出来る	学校飼育犬及び、担当犬の管理
14		試験	試験 (筆記試験)	学校飼育犬及び、担当犬の管理
15		講義・演習	前期の講義と演習を振り返り、総合的な理解を深める	学校飼育犬及び、担当犬の管理
準備学習 時間外学習			校外研修では授業で学んだことを確認してより深い知識としてください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
社団法人 日本動物園水族館協会発行 新飼育ハンドブック 水族館編 第1・2・3集				

科目名 (英)	動物看護演習 I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	鈴木莉紗
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	認定動物看護師。動物病院にて動物看護師として勤務後、専任教員						
授業の学習内 容	犬猫を中心に、健康管理や予防法、主にみられる疾患について学ぶ。各検査に必要な手技や機器の使い方を学ぶ。						
到達目標	犬猫の健康管理や予防法、主な疾患の症状、検査法を理解する。各検査の目的や意義を理解し、正確に検査を行うことができる。						
評価方法と基準	定期試験80%、授業内評価20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	犬猫の健康管理について	講義範囲の予習、復習
2	/	講義	バイタルサインについて	講義範囲の予習、復習
3	/	講義	[予防]ワクチンについて	講義範囲の予習、復習
4	/	講義	[予防]フィラリアについて	講義範囲の予習、復習
5	/	講義	[予防]狂犬病について	講義範囲の予習、復習
6	/	講義	[予防]避妊去勢について	講義範囲の予習、復習
7	/	講義	注射針・シリンジ等の取扱いについて	講義範囲の予習、復習
8	/	講義	調剤について	講義範囲の予習、復習
9	/	講義	疼痛・疼痛管理について	講義範囲の予習、復習
10	/	講義	痒みについて	講義範囲の予習、復習
11	/	講義	嘔吐・吐出について	講義範囲の予習、復習
12	/	講義	下痢について・検便について	講義範囲の予習、復習
13	/	講義	下痢について・検便について	講義範囲の予習、復習
14	/	講義	試験	試験範囲を勉強し、その後見直し
15	/	講義	振り返り	試験範囲を振り返り、理解を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	グルーミング演習 I ()	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	荒川淳子
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通 年・集中等
教員の略歴	動物病院でトリマーとして勤務。その後ペットショップで店長として勤務。現在はフリー。						
授業の学習内 容	実際にモデル犬を使ってグルーミングを学ぶ。それにあたって、使用する道具の安全な使い方を学ぶ。また犬の扱いに慣れ、コントロールすることを学ぶ。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・グルーミングが行えるようになる ・グルーミングで使用する道具を安全に使い、使用することに慣れる ・クリッピングの安全な使い方をマスターする 						
評価方法と基準	定期テスト60%、平常点40% (授業外学習をしている学生は、授業で差が明確なので、学習課題点として含む)						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
2	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
3	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
4	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
5	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
6	/	演習	道具を正しく使うことができる、犬の扱いに慣れる バリカンの扱いになれる		
7	/	演習	中間試験 グルーミングを実践できる		おおよそ2.5~3hでグルーミングを終える
8	/	演習	グルーミングを実践できる		おおよそ2.5~3hでグルーミングを終える
9	/	演習	グルーミングを実践できる、犬を安全に扱うことができる、バリカンを安全に使うことができる		
10	/	演習	グルーミングを実践できる、ハサミの動かし方、使い方になれる		
11	/	演習	グルーミングを実践できる、ハサミの動かし方、使い方になれる		
12	/	演習	グルーミングを実践できる、ハサミの動かし方、使い方になれる		
13	/	演習	グルーミングを実践できる、ハサミの動かし方、使い方になれる		
14	/	演習	試験		目標 開始から下準備1h以内、ブローまで2h以内
15	/	演習	試験		目標 開始から下準備1h以内、ブローまで2h以内
準備学習 時間外学習		ネット等でグルーミング動画を観て、犬の扱いやカットのイメージをつかんでおく。			
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>					

科目名 (英)	陸上動物	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部翔平
	(Biology of terrestrial animals)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部						
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習内容	動物園を来館、担当動物を観察し、陸上動物の分類・生態・形態を学ぶと共に、飼育管理する上で必要な知識を身につける。						
到達目標	各担当動物について、年間を通して観察を行い、観察力を身に付ける。 また観察をもとに各要因とのつながりを理解し、行動を知り、生態を学ぶ。						
評価方法と基準	授業内評価50%、レポート50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月11日	講義	担当動物決め、観察方法、サンプリング表作成	動物園見学で担当動物決めてもらう
2	4月25日	講義と演習	サンプリング	観察表作成、各担当動物の生体を調べる
3	4月25日	講義と演習	サンプリング	観察表作成、各担当動物の生体を調べる
4	5月16日	講義	行動ふりかえり、行動について	観察表提出
5	5月23日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
6	5月23日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
7	6月13日	講義	行動ふりかえり、階級分類	観察表提出
8	6月27日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
9	6月27日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
10	7月4日	講義	行動ふりかえり、階級分類Ⅱ	観察表提出
11	7月18日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
12	7月18日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
13	8月29日	講義	行動ふりかえり、発表、半期データまとめ	観察表提出
14	9月12日	講義と演習	サンプリング	観察表作成
15	9月12日	講義と演習	サンプリング	半期データ提出
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	動物園・水族館研究 (Study of Zoo & Aquarium)	必修 選択	必修 ・ 選択必修 ・ 選択 等	年次	1	担当教員	岡村裕美
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
教員の略歴	岡村動物動物プロダクション勤務、複数の動物園 水族館に勤務経験あり。飼育展示、調教、広報、ショーの運営進行などを経験。 飼育技師資格有						
授業の学習内容	①動物園の歴史、役割 業務、内容について理解し、現場で即戦力となるために必要である ②動物園 水族館の役割に携わる科目と深く関係する。 ③学生の皆様には、動物園や水族館の役割や歴史、現状を正しく理解し、 業界人としての知識を習得していただきたい。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動物園の歴史について習得する。 ・動物園の役割について正しく知る。 ・動物園の業務について理解し、現場での対応に役立てる。 						
評価方法と基準	1)定期試験 70% 2)小テスト 30% ※講義内容の理解力を重視し、期間内の小テストで授業への取り組み姿勢を評価する ※小テストでは、準備学習成果も評価対象とする ※理想的な達成レベルはC以上						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物園の概要を知る		ノート復習
2	/	講義	世界の動物園の歴史を理解できる		〃
3	/	講義	初期の日本の動物園の歴史を知る		ノート復習及び小テスト準備
4	/	講義	戦中、戦後まもない動物園を理解する(小テスト)		ノート復習
5	/	講義	昭和20年代の動物園を説明できる		〃
6	/	講義	昭和30年代の動物園を説明できる		ノート復習及び小テスト準備
7	/	講義	昭和40年代の動物園を理解する(小テスト)		ノート復習
8	/	講義	動物園の施設を知る		〃
9	/	講義	郊外型動物園について理解できる		〃
10	/	講義	動物園の運営について知る(小テスト)		ノート復習及び小テスト準備
11	/	講義	動物園の展示方式について理解する		ノート復習
12	/	講義	日本動物園水族館協会について知る		〃
13	/	講義	前期まとめ		前期振り返りの復習及び試験準備
14	/	試験	記述テスト		
15	/	解説	前期ふりかえり		
準備学習 時間外学習					
【使用教科書・教材・参考書】 □					
改訂版 新 飼育ハンドブック(動物園編) 日本の動物園					

科目名 (英)	マネジメントⅡ (Management II)	必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	1年	担当教員	阿部敏計
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義 演習	総時間 単位	60 4	開講区分	曜日・時限
教員の略歴	東北大学農学部畜産学科修士課程修了後、仙台市八木山動物公園勤務、2017年3月に副園長で退職						
授業の学習 内容	①動物園の運営、動物の管理・導入方法などを学ぶ。②更に、動物園では動物や動物を取り巻く環境をより多くの人に知ってもらうため、そして集客のために、職員がイベントを企画して実施している。そこで、テクノロジー専攻の学生は、イベントを実際に企画して実施できるようになるためにこの授業を行う。③「進級制作」と関係。						
到達目標	動物関係のイベントのマネジメント(企画・実施)が自分できるようにすることと、動物園関係法規を覚える。						
評価方法と 基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	動物園をマネジメントする:動物園の年間スケジュール	講義範囲を復習する
2	/	講義	動物園に関わる法規を理解する	講義範囲を復習する
3	/	講義	動物をマネジメントする:個体管理・台帳	講義範囲を復習する
4	/	講義	イベントの企画について学ぶ	講義範囲を復習する
5	/	講義	動物導入方法について学ぶ①国内	講義範囲を復習する
6	/	講義	動物導入方法について学ぶ①海外	講義範囲を復習する
7	/	演習	八木山動物公園へ:11と12回での演習のためにパンダとトラ見学と現状把握	
8	/	演習	実際にイベントを企画してみる① 動物のお話し	企画書を作成する
9	/	演習	実際にイベントを企画してみる② 動物クイズ	企画書を作成する
10	/	演習	実際にイベント企画してみる③ 自分で考えて企画	企画書を作成する
11	/	演習	実際に動物導入を企画してみる① レッサーパンダ(国内)	企画書を作成する
12	/	演習	実際に動物導入を企画してみる② スマトラトラ(海外)	企画書を作成する
13	/	講義	復習	
14	/	試験		
15	/	講義	振り返り	来年度に向けて
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	海洋哺乳類	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	藤田智子
	(Marine Mammal Science)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部						
教員の略歴	畜産学科卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習内容	海洋哺乳類の生理・生態について学ぶ						
到達目標	水族館職員として飼育動物の健康管理を行えるようになる。						
評価方法と基準	定期試験 60% 出席率、その他 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	ガイダンス	テキスト・ノート確認
2	/	講義	海牛の種類、食性	テキスト・ノート確認
3	/	講義	海牛の骨格、歯	テキスト・ノート確認
4	/	講義	海牛の消化機能	テキスト・ノート確認
5	/	講義	鯨の種類、分類	テキスト・ノート確認
6	/	講義	鯨の食性	テキスト・ノート確認
7	/	講義	鯨の体温調節	テキスト・ノート確認
8	/	講義	鯨の消化管	テキスト・ノート確認
9	/	講義	鯨の呼吸器	テキスト・ノート確認
10	/	講義	鯨の骨格	テキスト・ノート確認
11	/	講義	鯨の耳、超能力	テキスト・ノート確認
12	/	講義	鯨の目	テキスト・ノート確認
13	/	講義	鯨の種類別特徴	
14	/	講義	筆記試験	
15	/	講義	振り返り	
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 鯨類海産哺乳類学				

科目名 (英)	愛玩動物飼養管理士1・2級 (Pet animale breeding manager)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	関口順子
	学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限
教員の略歴	愛玩動物看護師 大学卒業後犬・猫テーマパーク勤務を経て動物系専門学校教員						
授業の学習内容	愛玩動物飼養管理士のテキストを基に、動物愛護や適正飼養問題についてふれ、飼養管理に関する基本的事項を習得する						
到達目標	愛玩動物飼養管理士2級の合格を目指す。						
評価方法と基準	定期試験80%、授業態度20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	犬・犬種について	
2	/	講義	犬について	
3	/	講義	猫について	
4	/	講義	動物関連法規①(動物愛護法)	
5	/	講義	動物関連法規②(動物愛護法)	
6	/	講義	動物関連法規③(ペットフード安全法)	
7	/	講義	動物関連法規④(狂犬病予防法)	
8	/	講義	狂犬病について	
9	/	講義	動物の体のしくみ①体の成り立ち、消化器について理解する	
10	/	講義	動物の体のしくみ②泌尿器、運動器について理解する	
11	/	講義	動物の体のしくみ③皮膚と感覚器、特殊感覚について理解する	
12	/	講義	動物の体のしくみ④犬の繁殖と生理について理解する	
13	/	講義	動物の体のしくみ⑤猫の繁殖と生理について理解する	
14	/	講義	試験	
15	/	講義	試験返却と振り返り・まとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	インタープリテーション (interpretive Training)		必修 選択	必修(選択必 修・選択等)	年次	2	担当教員	岡村裕美
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部		授業 形態	講義(演習・実 習等)	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	岡村動物動物プロダクション勤務、複数の動物園 水族館に勤務経験あり。飼育展示、調教、広報、ショーの運営進行などを経験。 飼育技師資格有							
授業の学習内 容	①インタープリテーションの意味と役割を理解し、演習を繰り返しながら即戦力となるために必要 ②企画やプランニング、動物に携わる科目とも関連、実践に役立てる ③学生の皆様には、時間外学習も行い、幅広い対応を自ら考え、活用できるようになっていただきたい							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インタープリテーションを楽しく実践できるようになる。 ・課題に対する知識を深め、学習し、展開できるようにする。 ・他の学生と共同で作業に取り組み、連携して実践できるようになる 							
評価方法と基準	1) 定期試験60% 2) 授業内評価 40% ※理想的な達成レベルは定期試験 C以上 ※授業内評価では、準備、時間外学習での学習課題も含めてルーブリック評価で判断する							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	インタープリテーションについて理解する	ノート復習
2	/	講義	解説の重要性について知る	〃
3	/	講義	解説の種類について学ぶ事が出来る	ノート復習及び演習準備
4	/	講義と演習	効果的なインタープリテーションを知る	〃
5	/	講義と演習	進行プログラム構成を知る	〃
6	/	講義と演習	進行プログラムの段取りを実践できる	〃
7	/	講義と演習	インタープリテーション資料について理解する	〃
8	/	講義と演習	資料の作成を実践できる①	〃
9	/	講義と演習	資料の作成を実践できる②	〃
10	/	講義と演習	資料の作成を実践できる③	〃
11	/	講義と演習	資料の作成と活用方法を知る①	〃
12	/	講義と演習	資料の作成と活用方法を知る②	〃
13	/	講義	前期まとめ	前期振り返りの復習及び試験準備
14	/	試験	記述テスト	
15	/	解説	前期ふりかえり	
16	/			
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
改訂版 新 飼育ハンドブック(動物園編 水族館編)				

科目名 (英)	エキゾチックアニマル (Exotic Animals)	必修 選択	必修 選択	年次	2	担当教員	長嶺 幸介
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	競走馬牧場、乗馬クラブ、総合ペットショップ、移動動物園、NPO法人生態科学研究所副理事						
授業の学習内容	エキゾチックアニマルについて学ぶ上で、身近な動物について分類や品種、習性や体の特徴などを知ることで正常な状態なのかを知り適正飼育ができるように学ぶ。またその動物の病気や飼育環境についても学び、飼育に生かす						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・動物について学び適正飼育ができるようになる ・動物たちについて理解しようとする、努力ができる ・正常を知って異常に早く気づき、適切に報告や対応、検証ができるようになる 						
評価方法と基準	授業内評価:40% 定期試験:60%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義	飼養管理に対する責任について理解する	ノート整理とまとめ
2	/	〃	モルモットの飼育管理について	〃
3	/	〃	デグーの飼育管理について	〃
4	/	〃	チンチラの飼育管理について	〃
5	/	〃	ウサギの飼育管理について	〃
6	/	〃	リス科動物の飼育管理について	〃
7	/	〃	プレーリードックとジリスの生態について	〃
8	/	〃	プレーリードックとジリスの管理について	〃
9	/	〃	シマリスの管理について	〃
10	/	〃	ハムスターの管理について	〃
11	/	〃	ハリネズミの管理について	〃
12	/	〃	フェレットの管理について	〃
13	/	〃	フクロモンガの管理について	〃
14	/	〃	テスト	〃
15	/	〃	まとめ	〃
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英名)	畜産飼養 (Feeding and Breeding Management for Domestic Animals)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	藤田智子
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	通年 曜日・時限
教員の略歴	農獣医学部卒業後、千葉県鴨川シーワールド入社。海獣飼育員として勤務。						
授業の学習 内容	豚、牛、鶏などの家畜を健康に育て、増やすために飼育環境を整える必要がある。そのために生物学、栄養学、飼育学等を学ぶ。						
到達目標	現場で動物を扱う際、種類、生態をある程度理解したうえで作業の必要性を考え、改善することが出来るようになる。						
評価方法と基準	試験 60% 授業内評価 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス	テキスト・ノート確認
2		講義	家畜と畜産について理解する。	テキスト・ノート確認
3		講義	成長、繁殖の特性について理解する。	テキスト・ノート確認
4		講義	栄養生理と飼料給与について理解する。	テキスト・ノート確認
5		講義	健康と環境管理について理解する。	テキスト・ノート確認
6		講義	乳牛の特性について理解する。	テキスト・ノート確認
7		講義	起源と種類について理解する。	テキスト・ノート確認
8		講義	繁殖生理と交配、分娩について理解する。	テキスト・ノート確認
9		講義	泌乳の生理と搾乳について理解する。	テキスト・ノート確認
10		講義	搾乳牛の飼育について理解する。	テキスト・ノート確認
11		講義	乳牛の育成について理解する。	テキスト・ノート確認
12		講義	衛生と病気について理解する。	テキスト・ノート確認
13		講義	まとめ	
14		試験	試験	
15		講義	振り返り	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
家畜飼育の基礎 日本の家畜・家禽				

科目名 (英名)	ファーム演習 (Practice of Farm Animal Management)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部翔平
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分 曜日・時限	通年
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習 内容	畜産飼養で学んだ生体管理を、実際に現場で実践し学ぶとともに、サービスや施設管理についても学び、運営方法を身につける。						
到達目標	農場の運営方法を学び、実際に飼育管理、サービス、施設管理を行えるようになる。						
評価方法と基準	実習取り組み 60% レポート課題 40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1-2		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
3-4		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
5-6		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
7-8		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
9-10		演習	農場における飼育管理について学ぶ	実施後レポート課題
11-12		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
13-14		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
15-16		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
17-18		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
19-20		演習	農場におけるサービス(販売、飲食)について学ぶ	実施後レポート課題
21-22		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
23-24		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
25-26		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
27-28		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
29-30		演習	農場における施設管理について学ぶ	実施後レポート課題
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名 (英)	潜水士対策講座 (Diver/Diving Examination)	必修 選択	必修 選択	年次	1	担当教員	小野寺紘也
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
教員の略歴	ダイビングショップ勤務、PADIコースディレクター、潜水士資格所持						
授業の学習内容	潜水士の教科書、過去問を中心に分析して生徒全員にわかりやすい授業を心がける。過去の試験問題を参照して抜粋して効率よく学べるようにプリントを配布する等の工夫も取り入れる。						
到達目標	2022年 9月 26日に実施される潜水士の国家試験に合格する。						
評価方法と基準	授業内評価100%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4/21	講義	潜水士問題集での講義	潜水業務について
2	5/12	講義	潜水士問題集での講義	潜水業務について
3	5/19	講義	潜水士問題集での講義	送気、潜降及び浮上について
4	5/26	講義	潜水士問題集での講義	送気、潜降及び浮上について
5	6/2	講義	潜水士問題集での講義	高気圧障害について
6	6/16	講義	潜水士問題集での講義	高気圧障害について
7	6/23	講義	潜水士問題集での講義	関係法令について
8	6/30	講義	潜水士問題集での講義	関係法令について
9	7/7	講義	過去問での復習	潜水業務について
10	8/4	講義	過去問での復習	送気、潜降及び浮上について
11	8/18	講義	過去問での復習	高気圧障害について
12	8/25	講義	過去問での復習	関係法令について
13	9/1	講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
14	9/8	講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
15	9/15	講義	過去問での復習	全体を通しての見直し
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
潜水士教科書、問題集、過去問プリント				

科目名 (英)	トリミング演習 I (Practice of Trimming)		必修 選択	必修・選択必 修・選択等	年次	2	担当教員	三浦 悦子
	学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部	授業 形態	講義・演習・実 習等	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期 曜日・時限 木曜日 1・2限
教員の略歴	動物系専門学校卒業後、2003年～トリマーとしてペットショップ勤務を経て自営							
授業の学習内 容	実際にモデル犬を使って、基本的な道具の使い方、犬の扱い方を学びながら、ベーシックを習得する							
到達目標	基本的なグルーミング方法を身につけ、犬種別のベーシックが出来る様になる							
評価方法と基準	1) 定期テスト80% 2) 出席数20%							

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	道具の使い方が理解できる	講義範囲の復習をする
2	/	演習	演習の仕方が理解できる	演習範囲の復習をする
3	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
4	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
5	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
6	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
7	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
8	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
9	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
10	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
11	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
12	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
13	/	演習	グルーミングが実践できる	演習範囲の予習・復習をする
14	/	試験	演習範囲	演習範囲の予習・復習をする
15	/	演習	まとめ	演習範囲を振り返る
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				
グルーミングテキスト				

科目名 (英)	ドッグトレーニングⅡ	必修 選択	必修・選択 必修・選択等	年次	2	担当教員	三田舞
	(Dog Training Ⅱ)	授業 形態	講義・演習 実習等	総時間 (単位)	60 (4)	開講区分	前期 水曜日
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部						
教員の略歴	動物系専門学校卒業後、2003年～2009年ペットショップ勤務を経て2009年Animal Family 開業						
授業の学習内容	犬のトレーニングに必要な基礎知識を理解するための講義と、実際に犬を使った演習を行うことによりより深くトレーニングを理解する授業です。 自分自身がしっかりとトレーニングを理解する事により、犬が理解しやすいトレーニングを習得します。 ※ 実際に犬を使ったトレーニングを行う授業のため、内容に変更のある場合があります。						
到達目標	犬の本能を利用したトレーニング方法を使い、基本動作を犬に教えることが出来る。 後期及び、進級後に備えアマチュアにトレーニング方法を理解しやすく説明出来る様になる。						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 定期試験(筆記試験) 60% 講義・演習中の態度及び、トレーニング成果 40% 						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
2		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
3		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
4		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
5		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
6		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
7		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
8		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
9		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
10		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
11		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
12		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
13		講義・演習	各家庭犬に合ったトレーニングができる	担当犬の管理
14		試験	試験 (筆記試験)	予習
15		講義・演習	前期の講義と演習を振り返り、総合的な理解を深める	担当犬の管理
準備学習 時間外学習			校外研修では授業で学んだことを確認してより深い知識としてください。	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
社団法人 日本動物園水族館協会発行 新飼育ハンドブック 水族館編 第1・2・3集				

科目名 (英)	動物看護演習Ⅱ ()	必修 選択	必修・選択必修・選択等	年次	2年	担当教員	鈴木莉紗
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部	授業 形態	講義・演習・実習等	総時間 (単位)	120 8	開講区分	前期・後期・通年・集中等 曜日・時限
教員の略歴	認定動物看護師。動物病院にて動物看護師として勤務後、専任教員						
授業の学習内容	犬猫を中心に、健康管理や予防法、主にみられる疾患について学ぶ。各検査に必要な手技や機器の使い方を学ぶ。						
到達目標	犬猫の健康管理や予防法、主な疾患の症状、検査法を理解する。 1年次に学んだことから、各検査の目的や意義を理解し、より正確に検査を行うことができる。						
評価方法と基準	定期試験80%、授業内評価20%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	講義・演習	採血について、検体の取り扱い	講義範囲の予習、復習
2	/	講義	フィラリア検査について理解する	講義範囲の予習、復習
3	/	講義	レントゲン検査について理解する	講義範囲の予習、復習
4	/	講義	超音波検査について理解する	講義範囲の予習、復習
5	/	講義	[復習]糞便検査について理解する	講義範囲の予習、復習
6	/	講義	[復習]尿検査について理解する	講義範囲の予習、復習
7	/	講義	血液検査について理解する	講義範囲の予習、復習
8	/	講義	血液検査について理解する	講義範囲の予習、復習
9	/	講義	血液検査について理解する	講義範囲の予習、復習
10	/	講義	輸液管理について理解する	講義範囲の予習、復習
11	/	講義	輸液管理について理解する	講義範囲の予習、復習
12	/	講義	輸液管理について理解する	講義範囲の予習、復習
13	/	講義	輸血について理解する	講義範囲の予習、復習
14	/	講義	試験	試験範囲を勉強し、その後見直し
15	/	講義	振り返り	試験範囲を振り返り、理解を深める
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 <input type="checkbox"/>				

科目名 (英)	企画プランニング演習	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部
	(Practice of Business Planning)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	240 16	開講区分	前期
学科・コース	エコ・テクノロジー科Ⅱ部						
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習内容	イベントやプロジェクトの企画・立案・実行に必要な基本的な知識やスキルを学びます。具体的には、イベントのコンセプト作り、予算の作成やスケジュール管理など企画書作成方法について学びます。また、テクノロジー分野を取り入れて、企画を考案し、実際に発表することで実践的なスキルを身につけます。						
到達目標	イベントやプロジェクトの企画・立案・実行に必要な基本的な知識やスキルを習得し、実践的な経験を積み、また、マーケティングやプロジェクトマネジメントの分野に興味を持ち、より高度な知識を習得するための基盤を築く。またAIの技術を生かして、企画提案、作成ができるようになる。						
評価方法と基準	授業内評価100%(レポート、出席、授業取り組み、企業様評価)						

授業計画・内容							
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)			
①②	4月10日	講義・演習	企業プロジェクト紹介(企業様)ガイダンス(「企画とは?」)、テーマの考え方について				
③④	4月17日	講義・演習	企業プロジェクト企画内容考案(プレスト)	論文、書籍、インターネット			
⑤⑥	4月24日	講義・演習	特別講義(斎野重夫先生)				
⑦⑧	5月8日	講義・演習	プロジェクトテーマ設定 (目的、ターゲット、場所、コンセプト)	論文、書籍、インターネット			
⑨⑩	5月15日	講義・演習	中間発表① 個人発表(企業様)、	パワーポイント、原稿(個人)			
⑪⑫	5月22日	講義・演習	テーマ決定、内容ブラッシュアップ	論文、書籍、インターネット			
⑬⑭	5月29日	講義・演習	AIを用いた企画方法を学ぶ(ChatGPT、Image creator)	論文、書籍、インターネット、AI活用			
⑮⑯	6月5日	講義・演習	調査、分析方法検討、目標設定(企画共同作成)	同上			
⑰⑱	6月26日	講義・演習	イベントプロモーション考案、企画書作成(企画共同作成)	同上			
⑲⑳	7月3日	講義・演習	中間発表② デモンストレーション(企業様)	パワーポイント、原稿(チーム)			
㉑㉒	7月10日	講義・演習	企画共同作成				
㉓㉔	7月17日	演習	運営補助	会場で実施			
㉕㉖	7月17日	演習	運営補助	会場で実施			
㉗㉘	9月4日	講義・演習	中間発表③				
㉙㉚	9月11日	講義・演習	前期のまとめ、振り返り、後期計画	レポート作成			
㉛-㉜	7, 8月の補講日	演習	各施設運営方法を学ぶ (動物園、水族館、博物館等)	レポート作成			
準備学習 時間外学習							
【使用教科書・教材・参考書】 □							

科目名 (英)	進級制作 I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	阿部
	(Promotion Study I)	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
学科・コース	エコ・テクノロジー科 II 部						
教員の略歴	大学卒業後、南紀白浜アドベンチャーワールド、アニマルカフェ、八木山動物公園で飼育員として勤務						
授業の学習内容	グループごとに自らテーマを設定し、自主的に観察、調査を積み重ね、卒業制作展を主な目標として抄録やポスターの作成、口頭発表の準備を行う。						
到達目標	水族館や動物園、その他の動植物飼育施設では日々の飼育業務だけでなく、希少な動植物の保護および繁殖、飼育環境の改良、改善のために生態や行動をよく観察し、飼育方法や繁殖方法の確立、より良い飼育環境作りを目指すことも大切な仕事となっており、その重要性は年々高まってきている。その基礎となるのが「研究」という視点、思考であり、自分で調べ考えた事柄を客観的に他者に伝わる形にまとめ上げプレゼンテーションする力を身に付ける。						
評価方法と基準	出席20%、その他80%(研究への取り組み方、目標への到達度、プレゼンテーションのクオリティ)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	/	演習	ガイダンス(「研究とは?」)、調べるということ	
2	/	演習	企画書について、チーム決め	書籍、インターネットによる 研究テーマの模索
3	/	演習	同上	同上
4	/	演習	中間発表① 仮テーマ発表	
5	/	演習	論文とは	
6	/	演習	関連する小論文、 ニュースなどグループ発表、仮説設定	論文、書籍、インターネット
7	/	演習	同上	同上
8	/	演習	同上	同上
9	/	演習	中間発表② 経過報告、テーマ再確認	
10	/	演習	関連する小論文、 ニュースなどグループ発表	論文、書籍、インターネット
11	/	演習	同上	同上
12	/	演習	同上	同上
13	/	演習	同上	同上
14	/	演習	中間発表③ 経過報告	
15	/	演習	前期のまとめ	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				

